

つながる

always be with you

神代植物公園の
梅とメジロ



理事長
ご挨拶

立春がすぎ、寒さ厳しい中ですが、2017年の春の気配をかすかに感じる今日この頃です。日頃より、東山会が大変お世話になっており、心より御礼申し上げます。

調布東山病院は、昨年救急指定病院として認定され、院内訪問看護室は訪問看護ステーションとして（東山病院以外の患者さまにも応える）、新たに出発しました。

救急病院としては、必要とされた時に速やかに我々の入院ベッドを使っていただくこと。質の良い医療看護を提供し（急性期リハビリは必須条件）、できるだけ早く地域の生活にお戻しすることを目指します。入院の場で医療を提供

する我々ですが、生活の場を想像する努力を自ら課し、生活の場の持っている力を信じ、患者さまやご家族を勇気づけ、「急性期から在宅へ」を推し進めてまいります。

外来では、より重症な救急患者さまに対応し、感冒などの軽症や、慢性疾患の患者さまの対応は、地域の診療所の先生方をお願いし、機能分化を深化させてまいります。

調布東山病院のような中小病院に求められる急性期としての姿は、介護と一体となった虚弱高齢者に対する包括的なサービスを提供することと、皆さまが地域で安心して暮らしていくためのバックボーンである救急医療に参画するこ

とと定め、これに邁進してまいります。

喜多見・桜ヶ丘東山クリニック（外来血液透析）と東山会ドック健診センターとともに、東山会は、今年も引き続き地域医療に貢献し、住みやすい地域づくりの一員として取り組んでまいります。



理事長 おがわ としこ 聡子



院長

二次救急診療のご報告

～一般内科（予約なし）の受付時間変更について～

この地域の救急医療体制に貢献できるよう、
調布東山病院ではこのような取り組みをしています。

当院は昨年8月1日から東京都救急告示医療機関となり、内科系患者の二次救急診療を開始いたしました。救急車受け入れ件数、時間外（夜間・休日）直接来院患者数は、グラフでご覧いただけますように増加傾向を見せています。二次救急病院の使命は、これらの患者さまを外来で適切に診療し、必要があれば入院診療を提供することにあります。この使命に応えるため、救急外来診療および入院診療に、より多くのマンパワー（医師も看護師も）を注ぐことが必要と考え、このたび当院の診療体制を一部見直すことにいたしました。

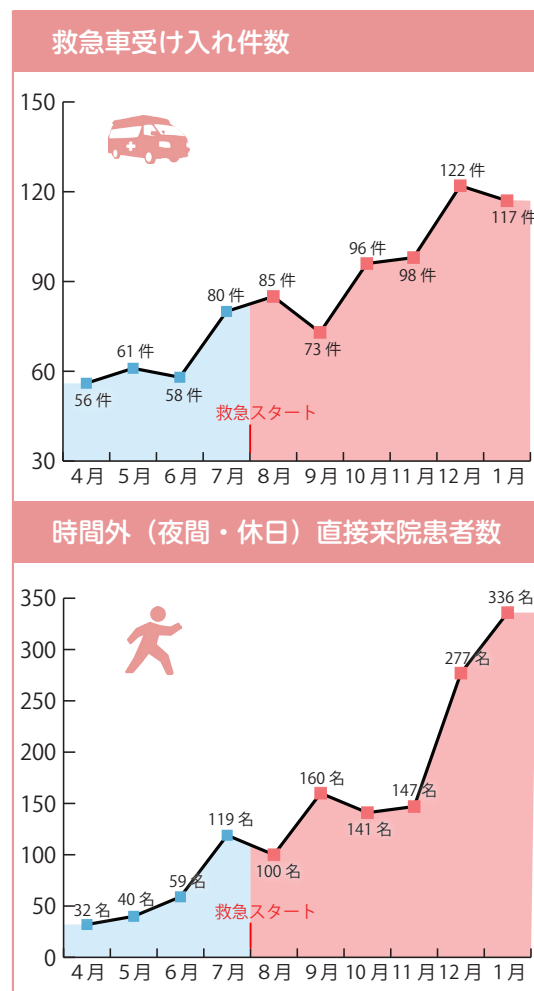
そのひとつが、「一般内科外来（旧名：初診外来）」の午後の診療受付時間の繰り上げです。当院では「一般内科外来」として、発熱、腹痛、下痢など、その日に具合の悪い内科系疾患の患者さまを、事前の予約なしで（当日受付で）診療する枠を、午前、午後ともに設けています。この枠の診療受付時間はこれまで、8:30～11:30（月曜日～土曜日）と13:30～16:30（月曜日～金曜日。土曜日は16:00まで）としておりました。この「一般内科外来」の午後の診療受付時間を2月1日から右ページのように、月曜日～土曜日13:30～15:00、に変更いたしました。午後の時間帯は、(1) 午前中に入院した患者さまの入院診療を行う、(2) 人手が減る夜勤帯へ向けて、午後に来院した救急患者



院長 須永 眞司

さまをより迅速に診療する必要がある、という事情があり、救急外来診療および入院診療により多くの人手を割くが必要になるためです。

感冒、胃腸炎など軽症の患者さま（一次救急相当）は、まず診療所／クリニックの先生方に診療をお願いし、そこで二次救急医療機関での診療が必要と判断された患者さまについては、二次救急医療機関の責務として当院が診療にあたらせていただく。このような診療役割分担を実現していくことが、この地域の救急医療体制を維持する上で重要ではないかと考えています。ご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。[文／須永 眞司（院長）]



一般内科（予約なし）受付時間変更のお知らせ

2月1日より、一般内科（予約なし）の受付時間を変更いたしました。

従来

午前 8:30～11:30
午後 13:30～16:30
土曜午後 13:30～16:00

変更後

午前 8:30～11:30
午後 13:30～15:00



院長

「医療機関の役割と連携」について

当院では、当院が有する急性期病院としての機能（入院機能、速やかに結果報告ができる検体検査・画像検査機能、いくつかの専門性を備えた診療能力）を最大限に発揮して、地域医療に貢献していきたいと考えています。必要なところに必要な人手を集中させる対策として、病状が安定した慢性疾患（高血圧、高脂血症など）で通院される患者さまに関しては、近隣の診療所／クリニックの先生方に、積極的に逆紹介を行っています。一方で、当院の役割として行うべき、救急診療、専門的な診療、一般病床における入院診療には、より一層の力を入れていきたいと考えています。

患者さまに対しても、医療機関の役割分担・医療連携の



▲患者さま向けのパンフレット

意義についての理解を深めていただくため、当院では「医療機関の役割と連携」という患者さま向けのパンフレットを作成いたしました。ホームドクターとして細やかな患者管理・治療を行う診療所／クリニック、緊急検査・救急診療・入院に応じる一般病院、さらに専門的かつ高度の診療を行う高次医療機関（大学病院な

ど）。それぞれの医療機関が自分たちの役割を十分に果たし、互いに連携していくことが、この地域の医療を守るために必要です。「すべての人が適切な医療を受けられる社会を目指して」。患者さまにもご理解をいただけるよう、引き続き努力を続けてまいります。

[文／須永 眞司（院長）]



トピックス

1月24日「第11回 調布医療連携カンファレンス」が開催されました

今回は、「貧血の診断と治療～原因検索の方法と治療の実践～」と題し、昨年4月に当院の院長に就任した須永眞司が講演を行いました。

前半では、血液検査結果のどこを見るのか、緊急性・専門医転送の判断、初期評価のポイントについて、貧血の原因診断として、ステップ1で赤血球のサイズ(MCV)によって貧血を3つに分類し、ステップ2で更に鑑別診断を絞っていく方法について、そして外来診療で一般的な鉄欠乏性貧血、ビタミンB12欠乏症の治療について解説がありました。学生時代に習った知識ですが、もう一度順序立てて基本的な思考過程を整理し、日常診療でのコツをたくさん得ることができたと思います。

後半では実践編として、地域の先生方からご紹介いただいた症例の鑑別診断を行いました。半年の経過で進行した大球性貧血(ビタミンB12欠乏症)、大腸がんが隠れていた小球性貧血(鉄欠乏性貧血)、肺炎で入院した正球性貧血(多発性骨髄腫)、食欲不振・体重減少で入院した正球性貧血(前立腺がんの骨髄転移)、貧血とCRP上昇で入院した正球性貧血(細菌性心内膜炎による慢性炎症性貧血)と、



▲調布医療連携カンファレンスの様子

大変示唆に富む症例ばかりで、活発な質疑応答が行われました。

当院では、強力な化学療法を必要とする血液疾患の診療は行っておりませんが、初期診断や、高齢者のQOLを重視した治療に力を入れています。どうぞお気軽にご相談ください。

[文/中村 ゆかり(副院長・地域連携室長)]



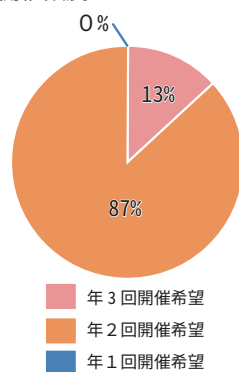
▲須永眞司医師



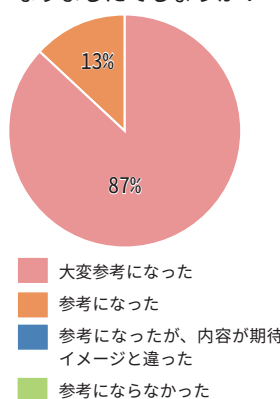
▲中村ゆかり医師

第11回 調布医療連携カンファレンス アンケート結果

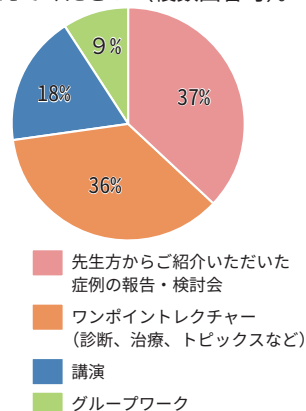
開催頻度はいかがですか？



今回の内容は参考にになりましたでしょうか？



今後、取り上げてほしいテーマを教えてください(複数回答可)。



次回の 調布医療連携カンファレンス

日程/7月11日(火)

講師/当院リハビリテーション科 大熊 るり 医師

テーマ/『嚥下機能～治療編～』

2015年7月に開催しました第8回調布医療連携カンファレンスでの講演『嚥下機能～評価編～』に引き続き、治療編についてのカンファレンスを予定しています。



とうざん's

新入職医師のご紹介

消化器内科
平山 慈子

はじめまして。1月1日より調布東山病院に入職しました、消化器内科医の平山慈子と申します。これからどうぞよろしくお願いいたします。

私は初期研修医・後期研修医の5年間を武蔵野赤十字病院で過ごした後、東京大学医学部附属病院で上下部内視鏡検査や、ESDを中心とした内視鏡治療の研鑽を積んでまいりました。これまでの経験を生かして、患者さまに優しい内視鏡検査・治療をモットーに、地域の皆さまに

貢献していけるよう頑張っていきたいと思います。

内視鏡検査でポリープや早期癌が見つかった際には、ぜひご紹介いただければと思います。もちろん胃腸の症状で内視鏡検査をしたほうがいいのか……という方も、どしどしご紹介下さい。地域の先生方と協力しながら、少しでも患者さまのお役に立てるよう頑張っていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。



トピックス

2月18日「第10回 調布薬業連携の会」が開催されました

地域に頼られる薬剤科を目指し、2011年より「調布薬業連携の会」を開催しています。

2月18日に行われた第10回には、調布市薬剤師会や近隣の8つの薬局などから15名の方にご参加いただきました。

「新型インフルエンザ等発生時診療継続計画を作成して」を



▲調布薬業連携の会の様子

テーマに、当院検査科の高丸格臨床検査技師が講演。当院で2016年12月6日に行った[新型インフルエンザ対応訓練]を紹介しました。また講演前には、検査科・臨床検査技師の仕事内容の説明なども行い、多職種間の相互理解を深めました。

今後も地域の薬剤に関わる方々とのネットワークを強化することで、患者さまが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう安全性や医療連携の向上を図っていきます。

当会への参加対象者は薬剤師

次回 第11回 調布薬業連携の会

今回は6月開催予定です。

詳細が決まり次第お知らせします。

今回は、病院と調剤薬局が連携し、地域全体で適切で統一された薬剤指導を患者さまに行えるよう、最新の知識の共有・統一を目的とした講演を予定しています。

会場：調布東山病院7階会議室
問合せ：当院薬剤科
(042-481-5594)



の方に限りません。多職種の方々のご参加を心よりお待ちしております。

山田隆 Dr. の
季節の植物図鑑 Vol. 4

ソシンロウバイ(素心蠟梅)

ロウバイ科ロウバイ属の花で、12月から2月にかけて甘い香りのある黄色い花を咲かせます。ロウバイの基本種の花は、内側の花弁が暗紫色をしています。ソシンロウバイは内側の花弁も黄色です。なおウメ(梅)はバラ科サクラ属に分類され、ロウバイとは別種です。

文・撮影/山田隆(リウマチ科)



「笑顔」で、「ゆる〜く」「協働」 ちょうふタバコ対策 ネットワーク

Introduction

喫煙者・非喫煙者双方のタバコによる健康被害をなくすことを目指し、調布市でタバコ対策を推し進めている「ちょうふタバコ対策ネットワーク」さん。会を代表するお二人にお話をうかがいました！

昨年12月の調布市福祉まつりに、ちょうふタバコ対策ネットワークさんも出店されていましたね。
鈴木さん／はい。調布市医師会さんと共催で、子ども向けのタバコふしぎ発見クイズと、禁煙・健康相談を開催しました。タバコクイズには310名が参加してくださり、付き添いも含めた来場者数は500名にものぼりました。
荒井先生／禁煙・健康相談には医師会の先生方が集い、来場者の相談にのりました。喫煙者自身は、なかなかこういう場には来ないものですが、喫煙者のご家族からの相談がたくさんありましたね。また、職場などで受動喫煙に悩んでいる、という相談もありました。

地域に密着した活動をされているんですね。そもそも、どのような経緯でネットワークを立ち上げたのですか？
荒井先生／調布市医師会のホームページを通して、鈴木さんから「タバコ対策の活動を一緒にしませんか？」とメールが届いたのが、鈴木さんとの最初の出会いでした。
鈴木さん／最初はどこの誰かわからなかったでしょうし、驚かれたと思います（笑）
荒井先生／東京都医師会に問い合わせたところ、鈴木さんは以前からとても熱心にタバコ対策の活動をされている方だとわかり、ぜひ一緒に調布市でネットワークを立ち上げましょう、と意気投合した次第です。2015年4月8日に設立しました。

メンバーにはどんな方々がいらっしゃるのですか？
鈴木さん／調布市在住・在勤の医師、歯科医師、薬剤師、看護教諭、僕のように企業のサラリーマンなど、年齢・職種を超えた20名ほどがメンバーです。
荒井先生／タバコ対策への関心が高かった個人を、ネットワークがつなぎ合わせてくれました。団体会員には、調布市医師会、調布市歯科医師会、調布市薬剤師会がメンバーとなっています。

どんな活動方針を掲げているのでしょうか？
荒井先生／第一に、喫煙者と敵対するのではなく、



代表 荒井 敏 先生
(辻医院院長)

副代表・事務局長 鈴木 隆宏 さん
(会社員)

喫煙者もタバコの害の被害者にとらえて、喫煙者・非喫煙者双方のタバコによる健康被害を減らすことをモットーとしています。
鈴木さん／また、家庭や仕事に支障がでない程度に、笑顔でゆる〜く活動することも大切にしています。活動方針をまとめると、【喫煙者を「悪」ととらえず、「笑顔」で「ゆる〜く」「協働」すること】ですね。

これまでの活動の内容を教えてください。
荒井先生／小学校での授業、市内の病院職員への講演、医師会での勉強会、調布市役所での職員向け研修など、さまざまな会を開催させていただいています。
鈴木さん／また、会員同士の親睦や情報交換のため、隔月で店内完全禁煙の飲食店での食事会を開いています。大いに飲み食いすることで禁煙店の応援にもなりますね。当会のHPに市内の完全禁煙のお店マップがあるので、よかったら皆さんも禁煙店のよさを実感してみてください。
荒井先生／掲載店はすべて鈴木さんが足を運んで完全禁煙かどうか調べたお店ばかりなので、信頼度の高いマップです。
鈴木さん／食べるのが趣味なんです(笑)

最後にメッセージを
鈴木さん／当会に興味のある方は、ぜひ一緒に活動しましょう。ご連絡をお待ちしています！



昨年12月4日の調布市福祉まつりでの禁煙・健康相談コーナーの様子。当院の中村ゆかり医師も参加しました。



小学校での授業の様子

ちょうふタバコ対策ネットワーク

問い合わせ／ホームページのお問い合わせフォームよりご連絡ください。
URL／<http://ctn.main.jp/contact.html>



トピックス

12月22日 ひだまりサロン
「自主トレたんぽぽ」さんで、
当院看護師がお話＆健康相談をしました♪

ひだまりサロン「自主トレたんぽぽ」さんは、地域の方々が自由に参加し、椅子に座ってできる体操などで1時間弱自主トレーニングをしているサロンです。毎週木曜日の10時～11時30分に、富士見地域福祉センターで開催されています。運動の他にも様々な講演が開催されており、12月22日には当院の看護師がインフルエンザのお話をさせていただきました

た。咳をするときのエチケットや、正しい手洗いの方法、消毒液の使い方などのお話に、みなさん熱心に耳を傾けてくださいました。



●自主トレたんぽぽ
連絡先／042-481-8719
(富士見コーナー)



▲当院の看護師と、医療ソーシャルワーカーによる血圧測定や健康相談も行いました。



トピックス

2月27日「東山会ホームページ」を
リニューアルしました

このたび、東山会ホームページを5年ぶりにリニューアルしました。今回は情報量を大幅に増やし、またスマートフォンでの閲覧にも対応しています。
地域連携室のページでは、患者さまのご紹介（外来・入院・

検査）の流れをご案内しています。また、使用する書式もダウンロードできるようになりました。
今後も随時更新してまいりますので、ぜひご覧ください。



地域連携室のページはこちらです♪



トピックス

11月19・20日 きたみんが
「世界キャラクターさみっと」に参加しました

埼玉県羽生市で毎年開催されている世界キャラクターさみっとにきたみんが参加してきました。今年は41都道府県と海外4カ国から約400体ものキャラクターが大集合。きたみんは、新調したてのハッピー姿でいろんなキャラクターたちとお友達になりました。



▲会場にて多摩キャラのみんなと



@kitamin1031

ツイッターでもっと詳しいきたみんの活動を紹介しています！

3/24 は 世界結核デー

世界結核デーは、細菌学者ロベルト・コッホが1882年に結核菌の発見を発表した日にちなんだ記念日です。世界の結核根絶への誓いを新たにするため、世界保健機関（WHO）が1997年に制定しました。

世界の
記念日



地域連携室より

「栄養相談外来」をはじめます

4月より、地域の先生方からのご紹介患者さま向けに、当院管理栄養士による「栄養相談外来」をはじめます。栄養相談が必要な患者さまがいらっしゃいましたら、ぜひご紹介ください。この取り組みが、地域連携のよりいっそうの充実に繋がることを願っております。 [文/杉田 薫(地域連携室課長)]

対象の患者さま

糖尿病、高血圧、脂質異常症、慢性腎臓病、肝臓病などの方

内容

1回あたり30分程度、個別での栄養相談を行います。

費用

- 1割負担の方：初回260円
2回目以降200円
- 3割負担の方：初回780円
2回目以降600円



患者さまやご家族の気持ちを大切に、目標に取り組めるよう一緒に考えていきます。安心してお任せください。

栄養科長



「栄養相談外来」の申し込み方法

1. 地域連携室にお電話（042-481-5044）でお申し込みください。
2. 地域連携室より予約日時をお伝えします。
3. 患者さまに予約票をお渡しください。

紹介状についてお願い

1. 診療情報提供書に、栄養相談の内容を記入し、患者さまにお渡しください。
2. 診療情報提供書と、血液検査結果（検査日が3ヵ月以内のもの）を地域連携室までFAX（042-481-5056）または郵送してください。

- 栄養相談の結果報告について
ご紹介いただいた先生方に郵送いたします。

- 患者さまの予約当日の持ちもの
 - ・ 予約票
 - ・ 診療情報提供書
 - ・ 保険証
 - ・ 当院の診察券（お持ちの方）
 - ・ 食事記録用紙（3日分）



連携室からのお知らせ

2月25日（土）に運動療法教室（アロマヨガ教室）を開催しました。



次の運動療法教室

ピラティス教室

地域連携室では毎月、健康増進を目的とした運動療法教室を開催しています。ピラティスとは、もともとリハビリのために開発されたエクササイズで、呼吸と動きでからだを整えます。

3月18日（土）14時～15時

会場／調布東山病院7階会議室 参加費／無料
申し込み／地域連携室までお電話をお願いします。

運動のキッカケ
づくり！



地域連携室

診察・検査・入院など、お気軽にご相談ください。



TEL: 042-481-5044 (直通)
FAX: 042-481-5056

月～土・9:00～16:30
日祝日・休み

編集後記【表紙のはなし】春一番が吹いた日に神代植物公園へ。うめ園には72品種、210本の梅の木が植えてあり、良い香りが漂います。梅の蜜を求めて調布市の鳥、メジロも来訪。三寒四温を繰り返す季節は確実に春に向かっていきます。(広報課) 表紙撮影：宇佐見 佳代



後ろ姿、飛び立つ姿もかわいい！



編集／発行
調布東山病院 経営企画部広報課
TEL: 042-481-5583 FAX: 042-481-5535